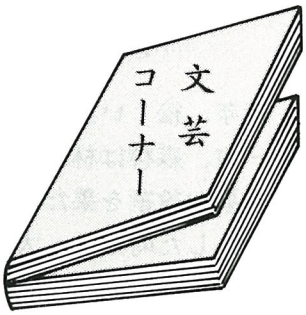

今回の児童・生徒のコーナーでは、白浜小のお友達の作品を紹介します。（敬称略）

2年
吉田てるひさ

水えい

九月十四日は、プールのおわりの日です。

ビートバンでは百メートルいくのに、ビートバンなしでは、一メートルしかすすみません。

そして、先生が、ヘルパーをつかえといったので、つかってみると、さいしょは三コ

「あってよかったな。」

と思いました。

つぎは二コ

「二こでもできたぞ。」

つぎは一コ

「一こでは、もぐってしまっておっかないな。」

と思いました。

「こんどは、なしでおよげ。」

といったので、ドキドキおっかなくておっかなくてしょうがありませんでした。

四メートルいって、くるしくて立ってしまいました。

先生が、

「あとすこし。」

「ここでがんばらないと男じゃない。」

といったので、もう一回やって六メートル。

「いったぞ。」

もう一回やると、こんどは七メートルでした。十メートルおよぎたかったけど、いきがくるしくて十きゅうでした。

ぼくは、

「やった。」

と思いました。

三年生は、百メートルいきたいです。

2年
向後ひろあき

日記より　七月二十三日

ぼくは、おとうさんとおかあさんと、妹のまさよと、あさひのおじいちゃんと五人で、つくばのか学ばんぱくへ行きました。

いろいろなのりものやえいがもありました。

ぼくが一ばんおもしろかったのは、エレクトロガリバーのぼうけんというところでした。

おとうさんとのりものにのって、うちゅうとかたいようとかを見ました。本当にうちゅうへ行ったみたいな気もちになりました。

それから、ゆうえんちに行ったり、ジャンボテレビにうつったりしました。

とてもおもしろかったです。

2年
あさ野じゅん子

日記より　八月二日

はいしゃに行きました。わたしは、はがいたかったです。ビリビリといたかったです。

おいしゃさんが、

「夜までごはんを食べちゃだめです。ぎゅうにゅうは、のんでもいいでしょう。」

と、いいました。

わたしは、ごはんを食べたいなあ、とおもいました。みんなは、ごはんを食べられていいなあ、とおもいました。

5年
加覧　泰弘

水泳練習に参加して

今年の夏、水泳教室に出場するための練習に参加しました。ぼくは、とても水泳が好きなので、参加しました。

しかし、一年生の時のぼくは、水泳がとてもきらいでした。泳げないしおもし

短歌

妻とわれただひとすじに辿り来し
起伏の多き五十年を想ふ
山崎平八郎

鵙鳴きて目覚めし床の温もりに
収穫すみし心緩みぬ
伊藤　定男

水平に広げし翅をふるわせて
秋愛おしく鈴虫すだく
鈴木甲子幸

風冷ゆる秋の気配に蟬の声
いたく細りて時折りに鳴く
岩沢　芳江

高姿勢なおも保ちて罪人を
かばう運命の人あわれなり
鈴木　恵美

留守をせし厨のかげに今日もまた
宿なし猫が子を連れて待つ
越川　雪枝

紅葉を待たで散りたる病葉を
ひそと濡らして秋の雨降る
藤代　敏子

この頃は人影少なきバス停に
コスモスのみが夕陽に咲けり
土屋　好